

国

語

国語の目標等について

【教科の目標】
 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

【学年・分野・領域等の目標など】

〔第1学年〕

- (1) 目的や場面に応じて、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手にも意図を考えながら聞く能力、話題や方向などをとらえて話せる能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じて、日常生活にかかわることなどについて構成を考えた確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書き、内容を要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

〔第2学年〕

- (1) 目的や場面に応じて、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じて、社会生活にかかわることなどについて構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書き、内容を広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じて、文章の内容や表現の仕方などに注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

〔第3学年〕

- (1) 目的や場面に応じて、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じて、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じて、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

【参考】

- 国語科については、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、言語の教養としての立場を一層重視し、国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるとともに、実生活で生きてはたらし、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付けることと、我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度を育てることに重点を置いて内容の改善を図る。特に、言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視する。そのため、現行の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」からなる領域構成は維持しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることに資するよう、実生活の様々な場面における言語活動を具体的に内容に示す。また、現行の〔言語事項〕の内容のうち各領域の内容に関連の深いものについては、実際の言語活動において一層有機的にはたらくよう、それぞれの領域の内容に位置付けるとともに、必要に応じてまとめて取り上げるようにする。また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を設け、我が国の言語文化に親しむ態度を育てたり、国語の役割や特質についての理解を深めたり、豊かな言語感覚を養ったりするための内容を示す。
- 子どもたちの発達の段階を踏まえた学習の系統性を重視し、学校段階・学年段階ごとに、具体的に身に付けべき能力の育成を目指し、重点的な指導が行われるようにする。その際、小学校においては日常生活に必要な国語の能力の基礎を、中学校においては社会生活に必要な国語の能力の基礎を、高等学校においては社会人として必要な国語の能力の基礎をそれぞれ確実に育成するようにする。
- 古典の指導については、我が国の言語文化を享受し継承・発展させるため、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する。漢字の指導については、実生活や他教科等の学習における使用や、読書活動の充実に資するため、確実な習得が図られるよう、指導を充実する。書写の指導については、実生活や学習場面に役立つよう、内容や指導の在り方の改善を図る。敬語の指導については、人間関係を円滑にし、日常の言語生活を豊かにするため、相手や場に応じた言葉遣いが適切にできるようにすることを重視する。言葉のきまりの指導については、系統的に指導するとともに、実際に文章を書いたり読んだりするときなどに役立つよう、指導の改善を図る。読書の指導については、読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりするため、読書活動を内容に位置付ける。教材については、我が国において継承されてきた言語文化に親しむことができるよう、長く読まれている古典や近代以降の作品などを、子どもたちの発達の段階に応じて取り上げるようにする。

○ 標準授業時数

第1学年—140単位時間

第2学年—140単位時間

第3学年—105単位時間

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	国語・727 国語・827 国語・927	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 具体例を挙げて順序立てて分かりやすく話を組み立ててスピーチをしたり、相手の話をメモを取りながら聞きよりよい質問を意識して会話をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。</p> <p>第2学年～ 聞き手の立場や考えを想定して説得力のあるプレゼンテーションをしたり、メリットとデメリットを書き出して1つ1つについて検討をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりする。</p> <p>第3学年～ 自分の体験から話す材料を集め場面に応じた話し方や内容を考えてスピーチをしたり、論点を整理し互いの思いや考えを生かし合ってグループで討論をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話したり、課題の解決に向けて話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 材料を整理して選び構成を考えて自分のことを友だちに説明する文章を書いたり、好きな歌を選び観点を決めて鑑賞したことを文章にしたりする活動を通して、目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を考えて的確に書く。</p> <p>第2学年～ 短歌をもとにして描写を工夫して物語を書いたり、職場体験の受け入れ先に事前の打合せをするための依頼の手紙を書いたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く。</p> <p>第3学年～ ポスターやロゴマークを比較し批評する文章を書いたり、環境問題について集めた情報をミニ雑誌にまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 詩の言葉から描き出されている風景や込められている思いを想像したり、図表などとの関連を考えながら説明的な文章を読んだりする活動を通して、目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる。</p> <p>第2学年～ 文学的な文章を読んで展開や表現の工夫について感想を交流したり、新聞記事を読み比べて印象の違いについて話し合ったりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用する。</p> <p>第3学年～ 俳句に詠まれている情景や心情を想像し、よさを評価してまとめたり、同じテーマで書かれた2つの論説文の共通点や相違点を見付けながら読んだりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 現代語とは異なる言葉や表現に注意しながら古文を音読する活動や、単語の類別を理解する活動</p> <p>第2学年～ 漢詩の表現の特徴をとらえて繰り返し朗読する活動や、敬語の働きを理解する活動</p> <p>第3学年～ 和歌を読んで鑑賞文を書く活動や、連語・慣用句などに関する知識を広げる活動</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「言葉の力」において、表現を手がかりにして登場人物の心情を考えたり、筆者の考えの根拠に着目したりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第2学年～ 「言葉の力」において、登場人物の言葉や行動の意味に注意したり、文章の構成をとらえ、目的や相手に応じて要約したりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第3学年～ 「言葉の力」において、説得力を高めるための論の進め方をとらえたり、人間関係の変化に着目したりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 書くための材料を整理しながら選んで構成を考えて説明的な文章を書く活動の後に、必要な情報を選び出し分かりやすい構成で案内や報告の文章を書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 具体例を取り入れて自分の考えがよく伝わるように順序立てて話を組み立てる活動（第1学年）の後に、聞き手の立場や考えを想定し説得力のある話を組み立てる活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 様々な情報手段を使って討論のテーマを決めてメリットとデメリットを出し合う活動（第2学年）の後に、互いの考えを生かし問題を解決するために話し合う活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は3教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は18教材であり、総ページ数は328ページで、前回より約5%増となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は3教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は17教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約5%増となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は3教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約5%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けることができるよう、「学びを支える言葉の力」を掲載している（全学年）。 読書に親しむ態度を養うことができるよう、読書教材の後に「読書案内」などを掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学び方を確かめることができるよう、学習のねらいや進め方を示した「目標」や「てびき」を設けている（全学年）。 見通しをもって学習することができるよう、「話すこと・聞くこと」領域と「書くこと」領域の単元に「学習の流れ（例）」を設けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に授業における学習目標や学習の方法などを表した領域別学習材一覧を示している（全学年）。 巻末に練習問題を示した「基礎編」や「本編」と関連する教材からなる「資料編」を掲載している（全学年）。 全ての生徒が学習しやすいよう、判別しやすい文字の大きさにするなど、工夫されている。

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	11・学図	第1学年 第2学年 第3学年	国語・728 国語・828 国語・928	中学校国語 1 中学校国語 2 中学校国語 3
	<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 自分が紹介したいことについて構成メモをもとに分かりやすくスピーチをしたり、相手が言いたいことを確かめ足りない情報を聞き出しながらインタビューをしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。</p> <p>第2学年～ 目的や発表時間などの条件に沿って発表に必要な情報を絞り込んでプレゼンテーションをしたり、立場を決めて互いの発言を検討しながらディベートをしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりする。</p> <p>第3学年～ 関心のあることについて大勢の聞き手に伝わるように工夫してスピーチをしたり、3つ以上の立場で考えられる問題についてパネルディスカッションをしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話したり、課題の解決に向けて話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 本の魅力が伝わるように構成を工夫してブックカバーや帯を作ったり、インタビューして取材したことを新聞の記事にしたりする活動を通して、目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を考えた的確に書く。</p> <p>第2学年～ 絵をもとに表現を工夫して物語や詩を作ったり、社会の出来事についての自分の考えを読み手に分かるように組み立てを考えて意見文を書いたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く。</p> <p>第3学年～ 詩や絵本を選び観点を決めて批評する文章を書いたり、中学校生活を年表にまとめて思い出エッセイを書いたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 文章中の言葉を表に整理し文章展開に即して要旨をまとめたり、二つの文学的な文章を比較して共通点や相違点を指摘して交流したりする活動を通して、目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる。</p> <p>第2学年～ 文学的な文章を読んで登場人物の言動の意味について考えたことを交流したり、筆者の考えに対する自分の立場を明確にしながら読んだりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用する。</p> <p>第3学年～ 文学的文章を読んで比喩表現などの表現の特徴や意味、効果をとらえたり、筆者の視点や主張をとらえて自分の考えをまとめて発表したりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 古典のリズムを味わいながら古文を読む活動や、音声の働きや仕組みについて理解を深める活動</p> <p>第2学年～ 登場人物の心情や作者の思いを想像して古文を朗読する活動や、話し言葉と書き言葉の違いを理解する活動</p> <p>第3学年～ 歌が詠まれた背景に注意して和歌を読む活動や、和語・漢語・外来語などの使い分けを理解する活動</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「ついた力を確かめよう」において、目的に応じて要旨をとらえたり、登場人物の描写に注意して読んだりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第2学年～ 「ついた力を確かめよう」において、心情を表す語句に注意して読んだり、文章の構成や展開の工夫について理解したりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第3学年～ 「ついた力を確かめよう」において、文章の論理の展開の仕方をとらえたり、表現の仕方について説明したりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 材料の集め方や分類・整理の仕方を工夫しながら作品の魅力を伝える文章を書く活動の後に、段落の役割を考えて記事やリード文を書き学級新聞にまとめる活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 伝えることを明確にして分かりやすく友達にスピーチをする活動（第1学年）の後に、資料や機器を効果的に活用してプレゼンテーションをする活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 対立した立場で意見を深めディベートを行う活動（第2学年）の後に、様々な立場から意見を出し合って認識を深めたり、解決を図ったりするグループでパネルディスカッションをする活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は35教材であり、総ページ数は326ページで、前回より約18%減となっている。（A5判からB5判に変更）</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は37教材であり、総ページ数は334ページで、前回より約18%減となっている。（A5判からB5判に変更）</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は7教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は36教材であり、総ページ数は321ページで、前回より約18%減となっている。（A5判からB5判に変更）</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けることができるよう、「発見する読み」を掲載している（全学年）。 ・読書に親しむ態度を養うことができるよう、「読書に広げるために」を掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び方を確かめることができるよう、学習のポイントを示した「学びの窓」を設けている（全学年）。 ・見通しをもって学習することができるよう、「学習の見通しを持とう」を設けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に教材の構成や学習の進め方などを表した「この教科書を使うあなたへ」を示している（全学年）。 ・巻末に古典の学習に生かすことができる「古典文法」や「今に伝わる注意したい古語」を掲載している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、識別しやすい色使いにするなど、工夫されている。

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	国語・729 国語・829 国語・929	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1学年～ 聞き方や話し方を変えた2つのスピーチを比較しながら自分のスピーチについて検討してから発表会をしたり、自分の考えと同じ点や違う点を整理して質問をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。</p> <p>第2学年～ 資料や機器を効果的に活用しながら研究や調査結果についてプレゼンテーションをしたり、異なる立場や考えを尊重しながらパネルディスカッションをしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりする。</p> <p>第3学年～ 場や相手に応じて話の内容を構成しながら話し方を工夫してブックトークをしたり、課題の解決に向けて互いの考えを調整して合意形成と課題解決を図る会議を行ったりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話したり、課題の解決に向けて話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1学年～ 調べて集めた情報を分析・整理してまとめや順序を考えて文章を書いたり、目的や相手に応じて情報を編集して学校行事の案内をリーフレットにしたりする活動を通して、目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を考えた的確に書く。</p> <p>第2学年～ 作品の魅力や特徴が伝わるように描写や展開などを工夫して創作文を書いたり、推論と対話によって広げた考えを主張文にまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く。</p> <p>第3学年～ 学校や社会の出来事から自分で課題を探し批評する文章を書いたり、自分が選んだ言葉にまつわる作品を集めて形式を工夫して文章にまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1学年～ 場面展開や人物描写に着目して登場人物の心情の変化をとらえたり、文章に示された事実と筆者の意見を読み分けて要旨をとらえたりする活動を通して、目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる。</p> <p>第2学年～ 文学的な文章を読んで作品の構成の特徴について考えたことを交流したり、説明的な文章から筆者の主張を読み取り知識や体験と関連付けて考えをまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用する。</p> <p>第3学年～ 場面や登場人物の設定の仕方をとらえて内容を理解したり、文章の構成や表現の仕方に見られる筆者の工夫を見つけて、その効果について考えたりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 現代語とのつながりを考えながら古文を音読する活動や、単語の類別を理解する活動</p> <p>第2学年～ 漢詩独特の言葉遣いや調子をとらえて読み味わう活動や、類義語や対義語、多義語の意味などを理解する活動</p> <p>第3学年～ 歌が詠まれた背景に注意して和歌を読む活動や、和語・漢語・外来語などの使い分けを理解する活動</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「読み方を学ぼう」において、人物関連図を作って物語の理解を深めたり、図表と文章の対応について確かめたりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第2学年～ 「読み方を学ぼう」において、視点人物を変えて小説を読んだり、段落の大中小に注意して読んだりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第3学年～ 「読み方を学ぼう」において、回想に注意して出来事の順序を整理したり、小見出しに着目して内容を予想しながら読んだりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 調べて集めた情報を分析・整理して、まとめや順序を考えてレポートを書く活動の後に、目的や相手に応じて情報を整理・分類してリフレットを作る活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ テーマを決めてチームで作戦を練って討論する活動（第1学年）の後に、テーマを決めて立場ごとにグループを作ってパネルディスカッションをする活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 自分の考えとそれを支える事実や事柄を明らかにした主張文を書く活動（第2学年）の後に、論理の展開や引用の仕方を工夫して説得力のある小論文を書く活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は320ページで、前回より約5%減となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は324ページで、前回より約6%減となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は4教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は308ページで、前回より約1%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けることができるよう、「学びを広げよう」を掲載している（全学年）。 ・読書に親しむ態度を養うことができるよう、ブックガイド「私の本棚」を掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び方を確かめることができるよう、学習のポイントを示した「学びの道しるべ」を設けている（全学年）。 ・見通しをもって学習することができるよう、学習のポイントやテーマ例・スピーチ例を設けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に領域ごとに付けたい力などを具体的に表した領域別教材一覧を示している（全学年）。 ・巻末にさまざまな学習に必要な実践的知識や具体的な学び方をまとめた「資料編」を掲載している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、識別しにくい配色は避けるなど、工夫されている。

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	国語・730 国語・830 国語・930	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるよなになっている。</p> <p>第1学年～ 調べて分かったことについて事実と意見を区別してフリップを用いて報告をしたり、相手の話を聞いて自分の考えとの共通点や相違点を整理し必要に応じて質問をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。</p> <p>第2学年～ 図表などの資料を用いて構成や展開を考えてプレゼンテーションをしたり、社会生活の中から話題を決め司会や提案者の役割を考えて討論をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりする。</p> <p>第3学年～ 中学校生活を振り返って条件や場に適した表現を工夫して自分の思い出をスピーチしたり、互いの意見を生かし合うためにどのような発言がよいかを考えて話し合ったりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話したり、課題の解決に向けて話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分の体験を振り返り構成を考えて随筆を書いたり、相手や目的に応じて必要な内容や構成を工夫して学校行事などの案内文を作成したりする活動を通して、目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を考えた的確に書く。</p> <p>第2学年～ 文章に説得力をもたせるよう構成を工夫して新聞の投書記事を書いたり、心情が効果的に伝わるように工夫して物語を書いたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く。</p> <p>第3学年～ 文章の構成を選択して広告を批評する文章を書いたり、中学校で書いた作品を集め文章の形態などを工夫して作品集にまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 場面の展開や人物の描写に注意して登場人物の心情の変化をとらえたり、説明の仕方を比べて文章の構成や表現の特徴をとらえたりする活動を通して、目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる。</p> <p>第2学年～ 描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して作品を読み深めたり、疑問に思ったことなどを図書館やインターネットなどを活用して調べたりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用する。</p> <p>第3学年～ 場面や登場人物の設定、構成や展開に着目して文学作品を批評したり、筆者の考えに対する自分の意見をもって説明的な文章を読み比べたりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 歴史的仮名遣いに注意しながら古文をノートに書く活動や、音声の仕組みについて理解を深める活動</p> <p>第2学年～ 古人のものの見方や考え方に触れながら随筆を読む活動や、話し言葉と書き言葉の違いを理解する活動</p> <p>第3学年～ 歴史的背景などを理解しながら和歌を読む活動や、慣用句・ことわざ・四字熟語などに関する知識を広げる活動</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「ここが大事」において、文章を読んで自分の考え方を広げたり、場面の構成や展開、表現の特徴に注意して読んだりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第2学年～ 「ここが大事」において、題名やキーワードに着目して文章を読んだり、文章の全体と部分の関係に着目して読んだりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第3学年～ 「ここが大事」において、文章を読み比べて表現の仕方を評価したり、場面や登場人物の設定の仕方に着目して読んだりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 日常生活で体験したことを題材に段落の役割や全体の構成を考えて随筆を書く活動の後に、自分が書いた意見文を友達と読み合い互いのよさを見つけ合う活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 意図を正確に伝え合い話題や方向をとらえて話し合う活動（第1学年）の後に、司会や提案者を立て相手の立場を尊重して目的に沿って話し合う活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 複数の考え方ができる事柄について立場を決めて根拠を明確にした意見文を書く活動（第2学年）の後に、図表などの資料から読み取ったことを示して説得力のある意見文を書く活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約11%増となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は17教材であり、総ページ数は348ページで、前回より約10%増となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は348ページで、前回より約9%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けることができるよう、「学びのチャレンジ」を掲載している（全学年）。 ・読書に親しむ態度を養うことができるよう、「読んでみよう」などを掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び方を確かめることができるよう、学習の進め方や重点を示した「みちしるべ」を設けている（全学年）。 ・見通しをもって学習することができるよう、「読むこと」領域の読解のポイントを示した「ここが大事」を設けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に身に付けさせたい言葉の力と教科書の構成を掲載して単元ごとに学習する内容を示している（全学年）。 ・巻末に補足的な作品や情報収集の方法を示した付録「言葉の自習室」を掲載している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにするなど、工夫されている。

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	国語・731 国語・831 国語・931	国語1 国語2 国語3
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 紹介する事柄を選び分かりやすい構成を考えて好きなものを紹介するスピーチをしたり、説明の要点や感想をメモを取りながら聞き質問をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。</p> <p>第2学年～ 聞き手を意識して資料や機器を効果的に使用しながらプレゼンテーションをしたり、司会や発表者などの役割を決め互いの発言を検討しながらパネルディスカッションをしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりする。</p> <p>第3学年～ 自分と社会との関わりについて資料を活用してスピーチをしたり、社会的な課題について異なる立場からの意見を調整しながら説得力のある提案をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話したり、課題の解決に向けて話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 課題や目的に応じて集めた情報を整理し、構成を工夫してレポートを書いたり、好きな美術作品について観点を決めて鑑賞したことを文章にしたりする活動を通して、目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を考えて的確に書く。</p> <p>第2学年～ 「ある日の自分」をテーマに自分を見つめる視点を変えて物語を書いたり、伝えたい内容を明確にし気持ちが効果的に伝わるようにお礼の手紙を書いたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く。</p> <p>第3学年～ 関心のある事柄を決め観点を立てて分析し批評する文章を書いたり、内容にふさわしい紙面構成を考えて修学旅行記を編集したりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～ 3編の詩を読み比べて形式や表現の特徴を考えながら音読したり、図表の役割や効果を考えながら説明的な文章を読んだりする活動を通して、目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる。</p> <p>第2学年～ 文学的な文章を読んで登場人物について感じたことを交流したり、新聞やインターネットなど様々な方法で集めた情報を比較したりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用する。</p> <p>第3学年～ 登場人物の生き方や描かれ方、時代や社会背景に着目して文学作品を批評したり、同じテーマについて書かれた複数の新聞の社説を比較して読んだりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 歴史的仮名遣いやリズムに注意しながら古文を音読する活動や、単語の類別を理解する活動</p> <p>第2学年～ 作品の特徴を生かして古文を読む活動や、方言と共通語の果たす役割を理解する活動</p> <p>第3学年～ 作者のものの見方を想像しながら古典を読む活動や、和語・漢語・外来語などの使い分けを理解する活動</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「学習の窓」において、文章の要旨をとらえながら読んだり、事実と意見の關係に注意して読んだりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第2学年～ 「学習の窓」において、人物像の変化をとらえながら読んだり、時間の経過や出来事などに着目したりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p> <p>第3学年～ 「学習の窓」において、論理の展開をとらえながら読んだり、文章を読み比べ表現の仕方について評価したりするなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 伝える目的や相手を明確にして必要な情報を選び説明の文章を書く活動の後に、報告する内容について集めた情報を整理し、構成を工夫してレポートにまとめる活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 話題や議論の流れをとらえてグループで話し合う活動（第1学年）の後に、相手の立場や考えを尊重して互いの発言を検討しながらパネルディスカッションをする活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 対立する考えについて立場と根拠を明確にして意見文を書く活動（第2学年）の後に、論理の展開を工夫し資料を適切に引用するなどして説得力のある批評文を書く活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は14教材、「読むこと」は27教材であり、総ページ数は330ページで、前回より約4%増となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は13教材、「読むこと」は27教材であり、総ページ数は328ページで、前回より約3%増となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は26教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約3%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けることができるよう、「生活に生かす、他教科に生かす、他領域に生かす」を掲載している。（全学年） ・読書に親しむ態度を養うことができるよう、読書教材の後に「読書案内」を掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び方を確かめることができるよう、教材でどのような力を身に付けるかを示した「学習」や「目標」を設けている（全学年）。 ・見通しをもって学習することができるよう、学習を通して身に付ける力のポイントを示した「学習の窓」を設けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に身に付けたい言葉の力と教科書の構成を掲載して教材ごとに学習する内容を示している（全学年）。 ・巻末に補充的な学習や発展的な学習に活用できる資料や索引等を示した「学習を広げる」を掲載している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判別しにくい色の組合せは行わないなど、工夫されている。

<国語の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- ① 各領域「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の教材数と総ページ数
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習の箇所数
- ③ 知識・技能を活用する学習の箇所数
- ④ 発展的な学習の箇所数
- ⑤ 北海道とかかわりのある内容の箇所数
- ⑥ 読書活動との関連を図った教材数
- ⑦ 自ら進んで学習に取り組むことができる「コラム」等の数
- ⑧ 伝統的な言語文化にかかわる教材数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、領域ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 言語能力を螺旋的・反復的に育成することが求められていることから、身に付いた言語能力について振り返って確認することができる学習の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けることが求められていることから、他教科等との関連を図った学習の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ④ 個々の生徒の学習状況に応じ、きめ細かな指導を行うことが求められていることから、学習指導要領に示された学習内容をさらに深める発展的な内容の掲載の状況を把握する必要があるため。
- ⑤ 言語活動への興味・関心を高めることが求められていることから、北海道にかかわりのある教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑥ 読書に親しむ態度を育成することが求められていることから、読書活動を促す教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑦ 見通しをもって学習に取り組んだり、家庭学習を促したりすることが求められていることから、主体的に学習に取り組むことができるコラム等の掲載の状況を把握する必要があるため。
- ⑧ 伝統的な言語文化に親しむ態度を育成することが求められていることから、掲載されている教材の状況について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東書			学図			三省堂		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年		
①	領域別の教材数	A 話すこと・聞くこと	3	3	3	6	6	7	5	4	5	
		B 書くこと	7	7	5	6	6	6	6	5	4	
		C 読むこと	18	17	19	35	37	36	15	15	16	
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	15	14	16	15	14	24	21	19	
総ページ数	ページ数	328	336	336	326	334	321	320	324	308		
	前回の総ページ数	312	320	320	397	407	391	336	344	304		
	増加した割合	5%	5%	5%	-18%	-18%	-18%	-5%	-6%	1%		
②	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習の箇所数(※1)	26	26	25	21	21	23	6	6	5		
③	知識・技能を活用する学習の箇所数(※2)	6	6	6	3	3	3	20	18	19		
④	発展的な学習の箇所数(※3)	0	0	1	3	3	3	0	0	0		
⑤	北海道とかかわりのある内容の箇所数(※4)	0	3	3	2	2	1	1	3	0		
⑥	読書活動との関連を図った教材数(※5)	掲載数	15	15	15	19	20	18	13	14	14	
		作品数	95	94	91	43	38	33	41	43	47	
⑦	自ら進んで学習に取り組むことができる「コラム」等の数(※6)	15	15	15	21	21	23	13	15	16		
⑧	伝統的な言語文化にかかわる教材数	4	3	3	5	4	6	5	4	4		

(※1) 調査項目②「基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習の箇所数」については、東書「言葉の力」・「学びの扉」、学図「ついた力を確かめよう」、三省堂「読み方を学ぼう」、教出「ここが大事」、光村「学習の窓」を対象とする。

(※2) 調査項目③「知識・技能を活用する学習の箇所数」については、東書「学びを支える言葉の力」、学図「発見する読み」、三省堂「学びをひろげよう」・「学習を振り返る」、教出「学びのチャレンジ」、光村「生活に生かす」・「他教科に生かす」・「他領域に生かす」を対象とする。

(※3) 調査項目④「発展的な学習の箇所数」については、学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容を対象とする。

(※4) 調査項目⑤「北海道とかかわりのある内容の箇所数」については、調査項目①の領域別の教材として取り上げた教材に掲載されているものを対象とする。

(※5) 調査項目⑥「読書活動との関連を図った教材数」については、東書「読書案内」・「おすすめの古典」、学図「読書に広げるために」、三省堂「私の本棚」、教出「読んでみよう」・「本の世界へ」、光村「広がる読書」・「読書活動」・「読書案内」・「読書コラム」を対象とする。

(※6) 調査項目⑦「自ら進んで学習に取り組むことができる『コラム』等の数」については、東書「てびき」・「学習の流れ」、学図「学びの窓」、三省堂「学びの道しるべ」・「コラム」、教出「みちしるべ」の「確かめよう」、光村「学習」・「(学習と重複しない) 目標」を対象とする。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者			光村			
		教出	1年	2年	3年	1年	2年	3年
①	領域別の教材数	A 話すこと・聞くこと	5	5	5	6	5	5
		B 書くこと	6	5	5	14	13	10
		C 読むこと	19	17	19	27	27	26
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	19	17	27	29	24
総ページ数	ページ数	336	348	348	330	328	310	
	前回の総ページ数	304	316	318	317	319	301	
	増加した割合	11%	10%	9%	4%	3%	3%	
②	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習の箇所数(※1)		5	6	4	15	15	10
③	知識・技能を活用する学習の箇所数(※2)		6	6	6	12	12	7
④	発展的な学習の箇所数(※3)		0	0	1	0	0	1
⑤	北海道とかかわりのある内容の箇所数(※4)		0	3	1	1	2	1
⑥	読書活動との関連を図った教材数(※5)	掲載数	13	13	15	20	21	19
		作品数	76	75	94	84	82	82
⑦	自ら進んで学習に取り組むことができる「コラム」等の数(※6)		14	14	15	22	24	18
⑧	伝統的な言語文化にかかわる教材数		7	7	7	4	6	9

(※1) 調査項目②「基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習の箇所数」については、東書「言葉の力」・「学びの扉」、学図「ついた力を確かめよう」、三省堂「読み方を学ぼう」、教出「ここが大事」、光村「学習の窓」を対象とする。

(※2) 調査項目③「知識・技能を活用する学習の箇所数」については、東書「学びを支える言葉の力」、学図「発見する読み」、三省堂「学びをひろげよう」・「学習を振り返る」、教出「学びのチャレンジ」、光村「生活に生かす」・「他教科に生かす」・「他領域に生かす」を対象とする。

(※3) 調査項目④「発展的な学習の箇所数」については、学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容を対象とする。

(※4) 調査項目⑤「北海道とかかわりのある内容の箇所数」については、調査項目①の領域別の教材として取り上げた教材に掲載されているものを対象とする。

(※5) 調査項目⑥「読書活動との関連を図った教材数」については、東書「読書案内」・「おすすめの古典」、学図「読書に広げるために」、三省堂「私の本棚」、教出「読んでみよう」・「本の世界へ」、光村「広がる読書」・「読書活動」・「読書案内」・「読書コラム」を対象とする。

(※6) 調査項目⑦「自ら進んで学習に取り組むことができる『コラム』等の数」については、東書「てびき」・「学習の流れ」、学図「学びの窓」、三省堂「学びの道しるべ」・「コラム」、教出「みちしるべ」の「確かめよう」、光村「学習」・「(学習と重複しない) 目標」を対象とする。

学年	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・会話が弾む質問をしよう ・具体例を挙げて伝えよう ・話し合いで理解を深めよう <p>○教材数 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな発見を詩にしよう ・構成を考えて書こう ・根拠を明確にして書こう ・矛盾 ・案内や報告の文章を書こう ・学校新聞の記事を書こう ・作品のよさを表現しよう <p>○教材数 7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・風の五線譜 ・話し方はどうかな ・詩の心―発見の喜び ・飛べ かもめ ・さんちき ・オオカミを見る目 ・碑 ・スズメは本当に減っているか ・月夜の浜辺 ・古典の世界 ・伊曾保物語 ・竹取物語 ・矛盾 ・少年の日の思い出 ・集まって住む ・ニュースの見方を考えよう ・名づけられた葉 ・トロッコ <p>○教材数 18</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組み ・文法とは・言葉の単位 ・活字と書き文字・画数・筆順 ・つなぐ言葉・指し示す言葉 ・文の成分・連文節 ・音読み・訓読み ・単語の分類 ・漢字の部首 ・古典の世界 ・伊曾保物語 ・竹取物語 ・矛盾 ・名詞 ・語の意味と文脈・多義語 ・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 ・漢字の成り立ち ・小学校六年の漢字一覧 <p>○教材数 17</p>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識をもって聞こう ・説得力のある提案をしよう ・話し合いで問題を検討しよう <p>○教材数 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌のリズムで表現しよう ・調べて考えたことを伝えよう ・反対意見を想定して書こう ・枕草子・徒然草 ・依頼状やお礼状を書こう ・タウン誌の記事を推敲しよう ・いきいきと描き出そう <p>○教材数 7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未来へ ・メッセージをどう聞か ・短歌を楽しむ ・字のない葉書 ・卒業ホームラン ・鯉節―世界に誇る伝統食 ・小さな労働者 ・哲学的思考のすすめ ・落葉松 ・枕草子・徒然草 ・平家物語 ・漢詩 ・走れメロス ・歴史の物差し―水月湖の年縞 ・「正しい」言葉は信じられるか ・わたしが一番きれいだったとき ・坊っちゃん <p>○教材数 17</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方言と共通語 ・敬語 ・形の似た漢字 ・用言の活用 ・漢字の意味 ・助詞 ・同訓異字 ・枕草子・徒然草 ・平家物語 ・漢詩 ・話し言葉と書き言葉 ・助動詞 ・類義語・対義語 ・同音異義語 ・小学校六年の漢字一覧 <p>○教材数 15</p>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・評価しながら聞こう ・場面に応じて話そう ・話し合いで問題を解決しよう <p>○教材数 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を作って句会を開こう ・編集して伝えよう ・観察・分析して論じよう ・論語 ・今の思いをまとめよう <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生命は ・二つのアザミ ・俳句の読み方、味わい方 ・形 ・百科事典少女 ・絶滅の意味 ・落語の秘密 ・黄金の扇風機 ・サハラ砂漠の茶会 ・初恋 ・万葉・古今・新古今 ・おくのほそ道 ・論語 ・故郷 ・何のために「働く」のか ・いつものように新聞が届いた―メディアと東日本大震災 ・レモン哀歌 ・生ましめんかな ・最後の一句 <p>○教材数 19</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和語・漢語・外来語 ・間違えやすい敬語 ・連語・慣用句 ・熟語の構成・熟字訓 ・四字熟語 ・曖昧な文・分かりづらい文 ・送り仮名 ・万葉・古今・新古今 ・おくのほそ道 ・論語 ・言葉の移り変わり ・文法のまとめ ・紛らわしい漢字 ・間違えやすい漢字 <p>○教材数 14</p>

学年	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話を「きく」 ・お気に入りを紹介しよう ・発想をひらく・情報を集める ・コピーライターの発想と技 ・言葉でつなぐ ・インタビューをしよう ・見ることと読むこと ・言葉のイメージ・絵のイメージ <p>○教材数 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に目を向ける ・私のブックデザイン ・ブックカバー作品展 ・発想をひらく・情報を集める ・コピーライターの発想と技 ・広く事実を伝える ・隠れた世界を知る ・見ることと読むこと ・言葉のイメージ・絵のイメージ <p>○教材数 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はる ・新しい言葉の学びへ ・海のはじまり ・風呂場の散髪 ・字のない葉書 ・兄やん ・初めてのちいさな旅 ・蝶 ・ものづくりに生きる ・変わる動物園 ・奈々に ・何にでも値段をつける古道 ・具屋のおじさんの詩 ・知識の樹木 ・発想をひらく・情報を集める ・コピーライターの発想と技 ・木精 ・私のカメラ ・空飛ぶ魔法のほうき ・ぬすびと面 ・二十年後 ・物と心 ・片言を言うまで ・貝殻 ・言葉の向こうに ・竹取物語 ・宇治拾遺物語 ・故事成語 ・大切なもの ・まなちゃんの道 ・少年の日の思い出 ・シェークvsバナナスプリット ・生物が消えていく ・見ることと読むこと ・自由訳「イマジン」(抄) ・ストロベリー・フィールズの風 ・言葉のいのち <p>○教材数 35</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ち ・文節他 ・声符による漢字の読み ・品詞分類 ・部首による漢字の意味 ・名詞・代名詞 ・言葉の向こうに ・竹取物語 ・宇治拾遺物語 ・故事成語 ・漢字の書体 ・副詞・連体詞 ・言葉と生活・言葉と文化 ・旧字体と新字体・簡易慣用字体 ・指示語 ・接続詞・感動詞 <p>○教材数 16</p>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・人を動かす言葉 ・魅力を伝えよう ・プレゼンテーション ・情報を読む・世界を編集する ・世界を編集する知恵 ・よりよい判断に向けて ・対立した立場で意見を深める ・ディベートによる討論 ・言葉で伝える ・手紙とメール <p>○教材数 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で描き出す ・想像する言葉 ・物語・詩を作る(創作) ・情報を読む・世界を編集する ・世界を編集する知恵 ・効果的に伝える ・意見文を書こう ・言葉で伝える ・手紙とメール <p>○教材数 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おたまじゃくしたち四五匹 ・確かで自由な言葉の使い手に ・わたしはえのぐをといた ・昔話 ・逃げることは、ほんとにひきょうか ・吟味された言葉 ・幸せなスピード ・曲折 ・サーカスの馬 ・クリスマスの仕事 ・短歌 ・短歌十五首 ・地下水 ・父のようになりたくない ・世界を編集する知恵 ・坊っちゃん(一・抄) ・孫が読む漱石一坊っちゃん ・私たちは花火のように ・種をまく人 ・走れメロス ・花いちもんめ ・海のハンカチ ・若者が文化を創造する ・少年 ・言葉の力 ・源平争乱の歴史語り一平家物語 ・人の世と人の心のスケッチ ・論語 ・湖水 ・目撃者の眼 ・挨拶 ・アラスカとの出会い ・プロセスの建築 ・忘れること/黄色い部屋の謎 ・手紙とメール ・宇宙が叫ぶ ・過去を超える回想の力 <p>○教材数 37</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・語の読み方 ・動詞・形容詞・形容動詞 ・熟字訓・湯桶読み・重箱読み ・助動詞① ・同音異字・同訓異字 ・助動詞② ・言葉の力 ・源平争乱の歴史語り一平家物語 ・人の世と人の心のスケッチ ・論語 ・熟語の構成 ・助詞 ・言葉と生活・言語の文化 ・特別な用語 ・文・文章 <p>○教材数 15</p>

別記
様式4の調査項目① [各領域の教材] の具体的な内容

発行者 (学図)

<p>第3学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉で伝えるために ・世界に届ける言葉 パブリック・スピーキング ・心を動かす言葉 ・情報を自分のものとするために ・言葉の工夫を知る ・いろいろな立場で考える ・多様な意見の交差 グループ・パネルディスカッション ・言葉による発見 比喩という力 <p>○教材数 7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを深める ・批評する言葉 批評文を書く ・言葉の工夫を知る ・記憶を掘り起こす ・あの日かもしれない エッセーを書く ・言葉による発見 比喩という力 <p>○教材数 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の質問 ・言葉をより深く理解するために ・林と思想 ・言葉の共有 ・ケナリも花、サクラも花 ・Water ・地獄の季節 ・握手 ・輝ける闇 ・俳句 ・俳句十五句 ・存在 ・黒い雨 ・言葉の工夫を知る ・読書 少年一海 ・センブリを探しに行く ・ディズニーランドという聖地 ・運動会 ・武蔵野の風景 ・ふつくらと ・寂しいお魚 ・消えゆく虫 ・言葉との出会い ・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ・枕草子 ・漢詩 ・おくのほそ道 ・遠野物語 ・言葉のない世界 ・灯台 ・故郷 ・夕空晴れて ・白い闇のほうへ ・比喩という力 ・パールハーバーの授業 ・顔の見える国際協力 <p>○教材数 36</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表意文字と表音文字 ・常用漢字表の話 ・文字と拍 ・文章の構造・段落同士の関係 ・言葉との出会い ・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ・枕草子 ・漢詩 ・おくのほそ道 ・遠野物語 ・平仮名と片仮名 ・言葉と生活・言葉と文化 ・指文字・手話 ・指示語・接続語のまとめ <p>○教材数 14</p>
-------------	---	--	--	---

学年	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 聞き上手、話し上手になるために チームの力を引き出す 論理で迫るか、感情に訴えるか 即興劇にチャレンジ 一年間の自分のクラスを振り返って <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを整理してわかりやすく 目的や相手に応じて、情報を編集する 変わり身の上話 多角的な視点で作品を読み解く 思いや感覚に向き合い、考えを確かなものに 一年間の自分のクラスを振り返って <p>○教材数 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝のリレー オオカミの友だち クジラの飲み水 空中ブランコ乗りのキキ 字のない葉書 食感のオノマトペ 月を思う心 竹取物語 故事成語 玄関扉 見えないだけ 少年の日の思い出 この小さな地球の上で トロッコ 風が吹いている <p>○教材数 15</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文法のまど1 漢字のしくみ1 漢字を身につけよう1 ことば発見1 漢字を身につけよう2 ことば発見2 漢字のしくみ2 漢字を身につけよう3 月を思う心 竹取物語 古典の仮名遣い 故事成語 漢文の読み方 漢字を身につけよう4 ことば発見3 漢字を身につけよう5 ことば発見4 文法のまど2 漢字を身につけよう6 漢字のしくみ3 漢字を身につけよう7 漢字を身につけよう8 漢字を身につけよう9 文法のまとめ <p>○教材数 24</p>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 資料や機器を効果的に活用する 異なる立場や考えを尊重して 対話劇を体験しよう ふるさつを見つめ直す <p>○教材数 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読みたくなるしくみを工夫する 推論と対話で考えを広げる 「超訳」に挑戦 わかりやすく、心をこめて ふるさつを見つめ直す <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 名づけられた葉 小さな手袋 人間は他の星に住むことができるのか 短歌の世界／短歌十首 見えないチカラとキセキ 壁に残された伝言 枕草子・徒然草 平家物語 漢詩の世界 動物園でできること 大阿蘇 走れメロス 達人のことば ポテト・スープが大好きな猫 あとひとつ <p>○教材数 15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ことば発見1 漢字を身につけよう1 漢字のしくみ1 漢字を身につけよう2 文法のまど1 漢字を身につけよう3 漢字のしくみ2 漢字を身につけよう4 枕草子・徒然草 平家物語 漢詩の世界 漢詩の形式 漢字を身につけよう5 ことば発見2 文法のまど2 漢字を身につけよう6 ことば発見3 漢字を身につけよう7 漢字を身につけよう8 漢字を身につけよう9 文法のまとめ <p>○教材数 21</p>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 句会をひらこう 状況に応じて話す力を養う 合意を形成し、課題を解決する 問いをもとに語り合う 中学校生活を振り返って <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開を工夫して説得力をもたせる 観察や分析をとおして判断する 漢字一字で表現すると 中学校生活を振り返って <p>○教材数 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水のようなひと 間の文化 握手 俳句の世界／俳句十句 花や咲く咲く フロン規制の物語 和歌の世界 おくのほそ道 論語 情報社会を生きる 新聞を読み比べよう 初恋 故郷 「文殊の知恵」の時代 坊っちゃん 誓い <p>○教材数 16</p>	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を身につけよう1 ことば発見1 漢字を身につけよう2 文法のまど1 漢字を身につけよう3 漢字を身につけよう4 和歌の世界 おくのほそ道 論語 漢文の読み方 漢字のしくみ 漢字を身につけよう5 ことば発見2 漢字を身につけよう6 ことば発見3 漢字を身につけよう7 漢字を身につけよう8 文法のまとめ 文法の総まとめ <p>○教材数 19</p>

別記

様式4の調査項目① [各領域の教材] の具体的な内容

発行者 (教出)

学年	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 感想を伝えあおう お気に入りの一品を紹介する フリップを用いて報告する 友達のスピーチを聞く アイデアの出して話し合う <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 記録をしよう 体験したことを文章にする 芸術作品の鑑賞文を書く 行事などの案内文を書く 意見文を読み合う 図表を用いて報告する <p>○教材数 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふしぎ 声を出そう 音を追いかけて 笑顔という魔法 ベンチ 写真と言葉が生み出す世界 河童と蛙 オツベルと象 百年後、千年後の友人であるあなたへ 竹取物語 故事成語—中国の名言— 蜘蛛の糸 電子レンジの発想 言葉のゆれを考える 花の形に秘められたふしぎ 言葉がつなぐ世界遺産 四季の詩 少年の日の思い出 言葉の上達は競技を上達させる <p>○教材数 19</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の音声 漢字の部首 漢字の練習 1 言葉の単位 画数と活字の字体 日本語の文字 百年後、千年後の友人であるあなたへ 竹取物語 故事成語—中国の名言— 漢字の練習 2 漢字の音と訓 文の成分 漢字の練習 3 単語のいろいろ 漢字の練習 4 熟語の構成 ことばの散歩道 1 ことばの散歩道 2 <p>○教材数 18</p>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 対話への扉 図表を用いて提案する 話を聞いて自分の考えと比べる 反対意見を想定して話すには 役割を決めて討論する <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の投書記事を書く 写真から物語を創作する お礼の手紙を書く 意見文を読み合う 四コマ漫画から意見文を書く <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 虹の足 タオル 日本の花火の楽しみ 夢を跳ぶ 物語を読み解く/ごんぎつね 近代の短歌 夏の葬列 平家物語 枕草子・徒然草 二千五百年前からのメッセージ 坊っちゃん 水の山 富士山 ガイアの知性 学ぶ力 レモン哀歌 走れメロス 言葉は私の聴診器 <p>○教材数 17</p>	<ul style="list-style-type: none"> 方言と共通語 ましがえやすい漢字 話し言葉と書き言葉 活用のない自立語 漢字の成り立ち 漢字の練習 1 漢字の多義性 平家物語 枕草子・徒然草 二千五百年前からのメッセージ 敬語 漢字の練習 2 活用のある自立語 類義語、対義語、多義語、同音語 漢字の練習 3 付属語のいろいろ 同音の漢字 漢字の練習 4 ことばの散歩道 <p>○教材数 19</p>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 対話への扉 話を聞いて自分の表現に生かす スピーチで学びをふり返る 課題を解決するために話し合う 「対話力」とは何か <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広告を批評する 図表などの資料から文章を書く 和歌の鑑賞文を書く 自己PR文を読み合う 自分の作品集をつくる <p>○教材数 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 春に 立ってくる春 私 「新しい博物学」の時代 無言館の青春 情報を編集するしかけ 歴史は失われた過去か 文化としての科学技術 おくのほそ道 万葉・古今・新古今 漢詩 最後の一句 近代の俳句 初恋 故郷 バースディ・ガール 花を贈る 自分自身に 言葉でつかんだ世界— <p>○教材数 19</p>	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の練習 1 呉音・漢音・唐音 漢字の練習 2 熟字訓 和語・漢語・外来語 慣用句・ことわざ 活用のない付属語 敬語 活用のある付属語 漢字の練習 3 おくのほそ道 万葉・古今・新古今 漢詩 漢字の練習 4 異字同訓 四字熟語 ことばの散歩道 <p>○教材数 17</p>

別記
様式4の調査項目⑤〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	学年	教材名	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
東書	2	・短歌五首 ・共通語と方言 ・読書への招待「小さな労働者」	「石川啄木」 本文：北海道 なまら など 「千葉茂樹」 北海道出身	24 28 84
	3	・評価しながら聞こう ・編集して伝えよう ・読書案内	知床半島 （「タンチョウが舞い降りるとき」という文章例を 取り扱っている） 『アイヌ神謡集』	53 79 182

者	学年	教材名	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
学図	1	・片言を言うまで ・読書を広げるために	（北海道のアイヌ語について取り扱っている） 『ユーカラの人々』金田一京助	158 166
	2	・アラスカとの出会い ・短歌十五首	本文：北海道の自然 「石川啄木」	229 58
	3	・運動会	札幌農学校（後の北海道大学）	117

者	学年	教材名	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
三省堂	1	・聞き上手・話し上手になるために	本文：北海道から南は種子島まで	27
	2	・短歌十首 ・壁に残された伝言 ・動物園でできること	「石川啄木」 「穂村 弘」北海道出身 「井上恭介」北海道出身 本文：旭川市旭山動物園 写真：旭山動物園 本文：北海道では出会う機会が多い… 「奥山英登」北海道出身	57 57 84 132 133 137 139

者	学年	教材名	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
教出	2	・言葉の小窓1 方言と共通語 ・近代の短歌 ・言葉は私の聴診器	本文：北海道函館市 「石川啄木」 「香山リカ」北海道出身	37 82 228
	3	・文化としての科学技術	「毛利 衛」北海道出身	93

者	学年	教材名	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
光村	1	・桜守三代	本文：北海道根室市では… 図：北海道根室市「千島桜」	192 195
	2	・短歌を味わう ・本の世界を広げよう	「石川啄木」 「穂村 弘」北海道出身 『カムイ・ユーカラ』	68 68 87
	3	・エルサルバドルの少女 ヘスース	「長倉洋海」北海道出身	191

別記

様式4の調査項目⑧〔伝統的な言語文化にかかわる教材数〕の具体的な内容

発行者（東書）

学年	教材名	内容（ジャンル及び数）	ページ
1	古典の世界	解説	128
	伊曾保物語	物語 2	134
	竹取物語	物語 2	139
	矛盾	故事成語 1	148
2	枕草子・徒然草	随筆 4	118
	平家物語	軍記物語 2	128
	漢詩	詩 2	144
3	万葉・古今・新古今	和歌 万葉 8 古今 5（和歌 4，序 1） 新古今 4	128
	おくのほそ道	俳諧紀行文 3 俳句 8	135
	論語	漢文 5	144

別記

様式4の調査項目⑧〔伝統的な言語文化にかかわる教材数〕の具体的な内容

発行者(学図)

学年	教材名	内容(ジャンル及び数)	ページ
1	言葉の向こうに(徒然草)	随筆1	170
	姫の物語?翁の物語?-竹取物語	物語5	172
	とらわれた心に突き立つ矢-宇治拾遺物語	説話1	184
	故事成語	故事成語2	191
	発音と表記他(枕草子)	随筆1	211
2	言葉の力	解説1	178
	源平争乱の歴史語り-平家物語	軍記物語1	180
	人の世と人の心のスケッチ-徒然草	随筆3	191
	論語	漢文4	198
3	言葉との出会い	現代短歌1 和歌1	158
	歌への源流へ-万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 (古典和歌の表現法)	和歌15	160
	発見する言葉-枕草子	随筆3	167
	漢詩	漢詩3	173
	言葉が見た風景-おくのほそ道	俳諧紀行文2 俳句9	178
	異界を捉える言葉-遠野物語	民話2	185

別記

様式4の調査項目⑧〔伝統的な言語文化にかかわる教材数〕の具体的な内容

発行者（三省堂）

学年	教材名	内容（ジャンル及び数）	ページ
1	月を思う心	短歌 3	100
	竹取物語	物語 1	104
	古典の仮名遣い	解説 1	115
	故事成語	故事成語 1	116
	漢文の読み方	解説 1	120
2	枕草子・徒然草	随筆 5	96
	平家物語	軍記物語 2	108
	漢詩の世界	漢詩 3	122
	漢詩の形式	解説 1	126
3	和歌の世界	古今和歌集仮名序 1 万葉集 短歌 9 長歌 1 古今和歌集 短歌 3 新古今和歌集 短歌 3	104
	おくのほそ道	俳諧紀行文 3 俳句 8	118
	論語	漢文 4	124
	漢文の読み方	解説 1	127

別記

様式4の調査項目⑧〔伝統的な言語文化にかかわる教材数〕の具体的な内容

発行者(教出)

学年	教材名	内容(ジャンル及び数)	ページ
1	四季のたより 春	和歌1 俳句1	32
	四季のたより 夏	和歌1首 俳句1	74
	百年後、千年後の友人であるあなたへ	古典解説1 川柳4 こっけい本1	104
	竹取物語	物語1	110
	中国の名言	故事成語1	120
	四季のたより 秋	和歌1 俳句1	136
	四季のたより 冬	和歌1 俳句1	182
2	四季のたより 花	和歌1 俳句1	38
	四季のたより 水	和歌1 俳句1	80
	四季のたより 月	和歌1 俳句1	104
	敦盛の最期/平家物語	軍記物語2	106
	随筆の味わい	随筆5	116
	二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉ー	漢文3	126
	四季のたより 雪	和歌1 俳句1	196
3	四季のたより 喜	和歌1 俳句1	42
	四季のたより 涼	和歌1 俳句1	82
	おくのほそ道	解説文1 俳諧紀行文3 俳句15	104
	和歌の調べ(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)	万葉集 短歌7 長歌1 古今和歌集 短歌3 新古今和歌集 短歌3	114
	風景と心情ー漢詩を味わうー	漢詩3	124
	四季のたより 深	和歌1 俳句1	154
	四季のたより 静	和歌1 俳句1	199

別記

様式4の調査項目⑧〔伝統的な言語文化にかかわる教材数〕の具体的な内容

発行者（光村）

学年	教材名	内容（ジャンル及び数）	ページ
1	音読を楽しもう いろは歌	いろは歌 1	140
	月に思う	解説 1 和歌 1	142
	蓬萊の玉の枝－「竹取物語」から （古典の言葉）	物語 3	147
	今に生きる言葉 （漢文を読む）	故事成語 1	158
2	枕草子	随筆 1	32
	季節のしおり 秋	和歌 1	130
	音読を楽しもう 平家物語	軍記物語 1	132
	扇の的－「平家物語」から	軍記物語 2	133
	仁和寺にある法師－「徒然草」から （係り結び）	随筆 2	142
	漢詩の風景 （律詩について）	漢詩 4	146
3	学びて時にこれを習ふ－論語から	漢文 4	32
	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	序文 1	134
	君待つと－万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 （和歌の表現技法）	和歌 1 5	139
	夏草－「おくのほそ道」から （俳句と俳諧）	俳諧紀行文 2 俳句 1 0	146
	関連教材 古典を心の中に	古典解説 1	155
	季節のしおり 春	和歌 2	31
	季節のしおり 夏	和歌 1 俳句 1	100
	季節のしおり 秋	和歌 2	132
	季節のしおり 冬	和歌 2	196